

葛城市長 阿古和彦 様

2021年 月 日

葛城市が県域水道一体化に参加しないことを求める請願書

請願主旨

令和3年1月25日、大和郡山市を除く県内27市町村は奈良県と企業団を設立し、県域水道を一体化する覚書を締結しました。今後、県は協議会（任意）において企業団の運営方針をとりまとめ、令和6年度には基本協定を締結し、令和7年度の事業開始を目指しています。

企業団に参加する場合、各自治体は水道事業の認可を放棄し企業団に移さねばなりません。いままでも葛城市の水道事業は市の判断で行ってききましたが、今後は企業団が判断することとなります。県の計画では葛城市の新庄・竹内・兵家の3か所の浄水場を令和12年に廃止し、8つの水利組合の協力で守られてきた10か所の自己水源を放棄することになります。

葛城市は葛城山麓の恵まれた地勢と先人たちの努力によって、県下で一番安い水道料金でおいしい水を提供してきました。しかも財政は健全で、内部留保金も17億6千万円（2018年度）あり、将来の設備更新に備えてきました。県は一体化への参加は各市町村の判断によるもので参加するしないによって不利益な取り扱いをすることはないと表明しています。

今まで通り経営努力と市民の協力で、命の水を守る市の責任を果たして頂くことを求めます。

請願事項

葛城市が県域水道一体化に参加しないことを求めます。

氏名	住所

連絡先 葛城市の水道を守る会事務局
電話 0745-48-8033 春木孝祐
FAX